

一般質問 12人が市政を問う

観光客に優しいまちづくりを



10 番

服部 秀 洋 議員

携帯電話不通地区の解消を

岩陰遺跡や岩屋ダム周辺、ゲンシボタルの里である門和佐地区は未だ不通のまま。これでは緊急時に救助も呼べない。今後の対応を問う。

◆観光商工部長

岩陰遺跡への観光客は年間1万8千人ほどです。安全に訪れていたためには、携帯電話網の整備は重要と考えています。現在NTTに対し要望をし、NTTも現地の調査をしています。

また、ゲンシボタルの里である門和佐地区については、入込状況に應じまして、関係機関に要望します。

花火大会の全市統一を

下呂温泉花火ミュージカル・冬花火に偏見を持っている方が多く残念である。現在市内で開催されている花火の財源を一本化し、相互理解を深める事はできないか？

◆観光商工部長

現在花火を行っているのは、下呂温泉と馬瀬、金山でいずれも実行委員会を立ち上げ地域の特色を活かして地元にお金の落ちる仕組みを地域で構築しています。その窓口を一本化し同じ財源で扱うことは困難であります。今年度計画している周遊バス事業を活用して各地域から下呂の冬花火に来場してもらええる仕組みを構築したいと考えております。

湯之島く幸田地区に架け橋を

観光業を中心に発展をとげた湯之島、幸田地区は下呂大橋を除くと北部は歩いてさえ行きてきません。人や車の流れは新たな発展を見込めるとともに、災害時の迂回路としても必要性が高い。都市計画図には整備予定として上げられているはずだが、計画はあるのか？

◆建設部長

その辺りは川幅が広く歩道橋でも4億以上の事業費がかかり財政的に厳しいです。下呂大橋の長寿命化・耐震補強工事を重要な課題として捕らえています。都市計画は昭和50年代のものであり、踏切等の課題もあり、実現が難しい状況です。

市民負担の軽減で元気な下呂市を



11 番

吾 郷 孝 枝 議員
(日本共産党)

市独自でできる国保税の減額で市民負担の軽減を

①国保税の1人平均2万7千円もの値上げは、市民にとって耐え難い。市長の基本姿勢を問います。

◆市長

生活習慣病にならないこと、またかかりつけ医との健康相談などを市民に勧めていき、高額医療にならない対策を進めます。

②負担軽減のため、一般会計からの繰り入れを、なぜやらないのか。

◆市民部長

保険制度を維持するために医療を受けた分、医療費を負担するのが原則であり、一般会計から繰り入れは、適切ではない。

③国保会計の基金は、こんな時こそ利用すべきものでは

◆市民部長

大幅に取り崩すと、今は良くても、今後大幅な増税をおこなう結果となります。

④法定減額の対象世帯に追加減額を。また、国保世帯で子どもが増えれば、その分負担増となり、子育て支援に逆行するので改善を

◆市民部長

低所得者以外の負担増などの問題が発生するため、困難です。

⑥医療費削減のため、予防ワクチンの助成拡大と温水プールの活用で健康づくりを

◆健康医療部長

生活習慣病等の予防のため、幅広い健康づくりの支援策を行います。

⑦国庫負担の水準を元に戻すよう国に働きかけを

◆市民部長

機会ある毎に要望します。

住宅リフォーム予算の増額と継続を

①住宅リフォーム助成の追加補正予算を組むべきでは。また来年度以降も事業の継続をすべきでは

◆副市長

県の振興補助金等、財源確保に努め、9月補正に計上したい。基本的には25年度で終了します。

③住宅リフォーム事業と連携した住宅耐震化の促進を計るべきでは

◆建設部長

既に併用して事業を利用されていますが、さらにPRに努めます。

いつまでも安心して暮らせるために



4 番
今井 政 嘉 議員

地域福祉の向上について

①地域福祉計画と地域福祉活動計画を一本化した計画が策定されたが、今年度の重点はどんな点か。

◆福祉部長

市内各地区に出向き福祉懇談会を開催し、緊急時や日常の簡単な手助けが行える「近隣たすけあい」の仕組み作りをします。

②福祉の担い手として市内のボランティアやNPOなど市民活動が必要だと有るが、今後の取組みは

◆福祉部長

社会福祉協議会と連携しボランティアやNPOの共通課題を相談し、意見交換できるようなボランティア活動連絡会議を立ち上げ行政が出来る支援も含め協議します。

◆福祉部長

③認知症サポーター制度の取組みは
現在は近隣と比較して少ないが、3年後に1000人を目指して、教室や出前講座を行います。

安全・安心な下呂市へ

①観光客を多く招き入れる下呂市の宿泊施設や、住民が多く利用する福祉・公共施設の安全性は

◆消防長

広島で発生したホテル火災を受け、早速関係施設の臨時査察を実施し、関係者の防火意識の高さを再認識しました。

②病院の新築移転に伴い、バス網の整備・進捗状況は。現在路線が無い中原から金山病院行きの新設を

◆経営管理部長

金山・下呂温泉病院の開院に合わせ、路線、ダイヤ等の改正の準備を進めています。新規路線については、慎重に検討いたします。

③集団登校中に痛ましい事故が他の地域で発生したが、市内での安全対策はどうなっているのか。

◆教育長

通学路に関するアンケートを行い、危険箇所の現地確認を行っています。学校・地域等が一層の連携を図り、安全確保に努めます。

④旧湯屋小学校区のバス停について、その後の対応は

◆経営管理部長

旧湯屋小前のバス停については早期整備するため、補助金などで支援を行います。小学校統合もあり優先的に対応するようにします。

市長2期目となる下呂市政の所信を聞こう



8 番
伊藤 厳 悟 議員

財政見直しと行政改革

合併特例による交付税通減の中で、どう財源を確保し歳出削減を図るのか。

◆市長

人件費の削減、事務事業の統合・見直しのほか、公の施設のあり方、庁舎の一本化についても検討し、市民サービスを低下させることなく歳出削減を進めていきます。

一般廃棄物処理場建設候補地の見直し

候補地が全て地元の理解が得られていない中、今後の見直しは

◆環境部長

ごみ焼却施設・リサイクル施設を分離し建設すること、先進的施設として視察者が訪れるような設備を導入する等、用地検討委員会に諮っていきます。

地域経済対策

①公約とした観光産業の現状と見直しは

◆市長

23年度は22年度を超える宿泊客を迎えました。今後観光計画に基づき地域の観光資源を生かして150万人を達成したい。

②旧下呂館跡地確保は財政上大きな問題だと思う。ランドマーク構想との関連は

◆市長

下呂館跡地は、産業振興の核になる土地として購入しました。ランドマーク構想は未確定ではあるが、民間に維持管理を行っていただき観光のシンボルとしたいです。用地購入とそのまま結びつくものではありません。

県立下呂温泉病院、市立金山病院の医師招へいの現状と対策

住民が安心して利用できるよう、診療科の充実と医師招へいが重要である。現状と対策は

◆健康医療部長

下呂温泉病院においては「生活の場の医療」を提供するための診療体制を維持していくと明言されており、市も積極的な支援をします。

◆金山病院事務局長

岐阜大学病院と良好な関係を保ちながら、長期にわたり多くの医師を派遣してもらっています。